



山陰合同銀行

## 山陰合同銀行様

導入機種 → PJP-50USB/20台、PJP-20UR/141台

導入時期 → 2010年10月～2012年2月

基本構成 → ジャパンメディアシステム株式会社様のWeb会議システム「LiveOn(ライブオン):イントラバック版」と連携し、PJPシリーズを全店に設置。営業店向け研修や各種説明会などでフル活用。

### 会社概要(2012年3月31日現在)

創立	1941年7月1日
資本金	207億円
本店所在地	鳥根県松江市魚町10番地
営業店舗数	本支店:93、出張所:51、代理店:26
従業員数	2,017名
主要勘定	総資産:4兆939億円、預金:3兆5,849億円、貸出金:2兆2,307億円、有価証券:1兆4,784億円
自己資本比率	16.43%(単体)
URL	http://www.gogin.co.jp/

# Web会議システム「LiveOn」と「PJPシリーズ」を連携させ、行内コミュニケーションの効率化と高度化を実現しました!

### PJP導入の背景

極めて広範囲な営業エリア内の研修・会議の効率化が課題に。

- 広範囲に散在する営業店舗網
- 出張時の時間・コスト削減が必須
- 頻繁な研修が必要な新商品の増加

山陰合同銀行様は松江市を本店とする地方銀行です。東西300キロメートルにおよぶ鳥根・鳥取の両県に加え、隠岐諸島や山陽・兵庫地区にも営業拠点を置き、極めて広範囲に営業を展開しています。以前は商品説明会や各種研修などが本店で開催されていたため、その移動に多くの時間とコストを費やしていました。また同行の営業店舗は小規模なものも多く、出張で効率的な店舗運営が阻害される問題も抱えていました。さらに最近では、専門的な商品知識が必要となる投資信託や保険の取り扱いが増え、研修や会議を頻繁に開催する必要にもせまられていました。こうした課題に対応するため、同行では2010年から遠隔会議システム導入の検討に着手。2011年1月より、Web会議システム「LiveOn(ライブオン)」を全店舗に導入するとともに、Web会議用マイクスピーカーとしてヤマハのPJP-50USB/20URを設置しました。

### PJPを選択した理由

Web会議システムと連携したPJPの優れた操作性などを評価。

- 求める要件を満たした「LiveOn」
- USB接続ですぐに使える操作性の良さ
- 音声品質や多彩な用途対応を評価

同行では会議システムの導入にあたり、6社のシステムを比較検討し、ジャパンメディアシステム株式会社の「LiveOn」を選定しました。その理由は、①行内LANの中にWeb会議システムのサーバを設置するため、セキュリティが万全であること、②専用のネットワークや機器などが不要なこと、③操作性に優れ、誰でも簡単に使えること、④Web会議上のセミナー開催や、アプリケーション共有など、必要な要件にすべて対応していたこと、などでした。またマイクスピーカーとしてヤマハのPJPが選ばれたのは、音声品質が優れていたことに加え、USBで接続すれば誰でもすぐに使える操作性の良さも決め手となりました。小規模の拠点には当初ヘッドセットが配布されていましたが、研修や会議に1名しか参加できないという課題が顕在化。運用開始から10カ月後にはそのすべてがPJP-20URにリプレイスされました。

### PJP導入の成果

研修や会議の質と量を高め、行内コミュニケーションを革新。

- 営業店の情報共有に大きな効果
- 本部サイドの業務負荷も軽減
- 今後はさらに多彩な用途を検討

「LiveOn」とPJPシリーズの導入により、同行のコミュニケーションは大きく変わりました。営業店では出張の時間とコストが削減され、以前は1名しか参加できなかった研修や会議に複数名が参加できるなど、情報共有に大きな効果をもたらしました。また本部側でも、各種の行内サブシステムの操作研修を全店対象に実施する際、従来は講師が同じ内容を何回も実施する必要がありましたが、研修内容を録画した映像を配信することで業務負荷の軽減にもつながっています。同行では今後、Web会議システムの用途を拡大し、研修所で行う集合研修を複数の部屋に分割して実施したり、拠点間の日常的な会議でも気軽に使うことを想定。さらに災害などで電話が不通になった時の緊急連絡網としての活用も検討しています。「LiveOn」とPJPシリーズは、同行の行内コミュニケーションの質と量を大きく高めたのです。

ご購入いただいた主な機種

**PJP-50USB** 希望小売価格:120,750円(本体価格:115,000円)  
JANコード:49 60693 23415 0

広い收音範囲、高音質の双方向会話ができる会議用マイクスピーカー



**PJP-20UR** 希望小売価格:52,500円(本体価格:50,000円)  
JANコード:49 60693 23467 9

より小さく、よりシンプルに。Web会議用マイクスピーカーの決定版



# 全拠点に導入されたWeb会議とPJPシリーズの連携により、 研修や会議の時間・コストの削減と、高度な情報共有を実現。 行内コミュニケーションを大きく革新しました。

## お客様の声



山陰合同銀行 経営企画部  
経営政策グループ調査役  
田中 博行 様



山陰合同銀行 総務人事部  
融資事務グループ  
石原 秀一 様

**Web会議システムは当行にとって不可欠なコミュニケーションツール、  
導入したその日から、研修や会議の多彩な用途で活用されています。**

ジャパンメディアシステム(株)のWeb会議システムとヤマハの「PJPシリーズ」は、当行ですでに必要不可欠なコミュニケーションツールです。たとえば、人事部主催の研修、預かり資産の勉強会や商品説明会、融資システム更改による操作勉強会、社内会議や役員講話など、15時以降はほぼ毎日活用されています。Web会議システムを導入したことで、当行のコミュニケーションのあり方は大きく進化しました。(田中様)

PJP-50USBは比較的大人数の会議で、PJP-20URはそれ以外の全拠点で使っています。どちらもUSB接続すれば、誰でも簡単に使えることに満足しています。全店に導入した際も、特に説明会などは実施せず、1枚の操作説明書を配布しただけでした。使い方が難しいといった反応はなく、導入の負荷もありませんでした。PJPの音声品質の良さは想定どおりで、行員はシステムを意識せず使っています。用途はますます広がっていくと思います。(石原様)

## 山陰合同銀行様のWeb会議システムの概要と主な用途

### ●人事部が主催する研修

事務担当者や営業担当者向けの研修、役員向けのガイダンス・研修など、年間プログラムにそってWeb会議による研修が実施されています。これとは別に、人事部課やキャリアアップ関連の研修、グループに分かれてのワークショップなどは、集合研修の形で実施されています。

### ●本部が主催する営業店向け研修、説明会など

Web会議システム導入により、極めて活発に実施されています。預かり資産勉強会・説明会、コンプライアンス・オフィサー講習、役員による営業店行員向けコンプライアンス勉強会、社内システムバージョンアップによる操作勉強会、社内会議・役員講話など、15時以降の時間帯は、常に何らかの研修・会議がWeb会議により行われています。

### ●PJP設置の概要

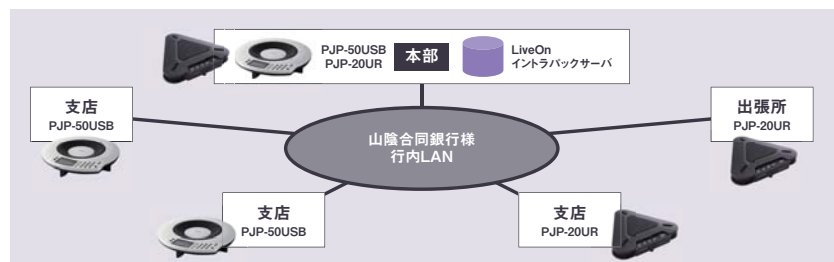
- 本部 / PJP-50USB:1台、PJP-20UR:13台
- 事務センター / PJP-50USB:1台
- 営業店等 / PJP-50USB:18台、PJP-20UR:128台



本部と全拠点を結んで開催される新商品説明会



比較的大人数の会議ではPJP-50USBも活躍



## 販売パートナー様の声

**PJPシリーズは当社の推奨品。音声品質と操作性の良さが最大の特長です。**

当社では、ジャパンメディアシステム株式会社社の「LiveOn」をご提供する際、そのマイクスピーカーはすべてヤマハのPJPシリーズを推奨しています。音質の良さはもちろんのこと、ドライバーが不要で、USBでつなげばすぐに誰でも使える操作性の良さが特長だと思います。品質を売り物にしている「LiveOn」にとって、音質が良く、トラブルもなく、バージョンアップも頻繁に行われるPJPは、安心して提供できるマイクスピーカーだと、高く評価しています。

株式会社プロビスモ 第4システム部マネージャー 高橋 敦 様



## PJP-50USBの概要

- 寸法 / 283(幅)×298(奥行)×52(高さ)mm ●重量 / 約1.4kg(電源アダプタ含まず) ●電源 / AC100~240V 50/60Hz
- 外部インタフェース / USB2.0 Full Speed、アナログオーディオ入出力各1(ステレオミニジャック)、ACアダプター接続用コネクタ(DC-12V IN) ●オーディオ / マイク8個(アレイマイク)、スピーカー4個(モノラル再生)、音量:最大85dB(0.5m)、周波数帯域:300~20,000Hz、信号処理:適応型エコーキャンセラー/ノイズリダクション/マイクアレイ制御



## PJP-20URの概要

- 寸法 / 160(W)×33(H)×149(D)mm ●重量 / 290g ●電源 / USBバスパワー駆動:5V/500mA
- 外部インタフェース / USB2.0 Full Speed ●オーディオ / マイク3個(単一指向性)、スピーカー1個(モノラル再生)、音量:最大85dB(0.5m)、周波数帯域:300~20,000Hz、信号処理:適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、マイクゾーン切替制御



本書に記載されている企業名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。



### 安全に関するご注意

●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。



感動を・ともに・創る

## プロジェクトフォンお客様ご相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5651-1838 ■FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら <http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

ECO-FULP このハブ/プレットは無塩漂白白(ECP)パルプを使用しています。

このハブ/プレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。